

岩手県北部における春まきパセリーの生産安定

金森 靖・四戸 秀一郎*・新毛 晴夫**

(岩手県園芸試験場高冷地開発センター・*北上農業改良普及所・**久慈農業改良普及所)

Stable Production of Spring Sowing Parsley in Northern Area of Iwate Prefecture

Yasusi KANAMORI, Syuichiro SHINOHE* and Haruo SHINKE**

(Highland Cool-zone Development Center, Iwate Horticultural Experiment Station・

*Kitakami Agricultural Extension Service Station・**Kuji Agricultural Extension Service Station)

1 はじめに

岩手県北部の野菜生産は、夏期冷涼な気象条件を生かした雨よけハウレンソウを中心に産地形成がなされている。雨よけハウレンソウの栽培年数が長期化するにともない連作障害等の発生が問題となってきており、産地を長期に維持、発展させるため雨よけ補完品目の開発が求められている。その一つとして、春まき雨よけパセリーについて検討した。

2 試験方法

(1) 試験場所

高冷地開発センター雨よけハウス, 露地圃場
九戸郡野田村明内雨よけハウス

(2) 供試品種

「瀬戸パラマウント」, 「けさお2号 (けさお)」, 「グランドパセリー」, 「カーリー・パラマウント」, 「ニュー・カールサンマー」

「けさお」は1992年から「けさお2号」として販売されている。

(3) 試験規模

高冷地開発センター 1区 8.3㎡ 2反復
九戸郡野田村明内 1区 5.8㎡ 反復なし

(4) は種期 (定植期)

高冷地開発センター 1990年3月29日 (6月8日)
1991年3月30日 (6月12日)
1992年4月16日 (6月23日)
九戸郡野田村明内 1991年4月12日 (6月20日)

(5) 栽培概要

1) 施肥量 (kg/a)

高冷地開発センター
窒素2.5 リン酸2.2 カリ2.4
(被覆尿素100日タイプ70%配合肥料使用)

九戸村野田村明内

窒素 1.0+1.0 リン酸 1.0+1.0 カリ 1.0+1.0

2) 栽植様式

高冷地開発センター 畦幅 120cm 株間 24cm 2条
九戸村野田村明内 畦幅 160cm 株間 24cm 2条

3 試験結果及び考察

(1) 品種比較

1990年には5品種を比較した。収穫葉の葉身の大きさは「瀬戸パラマウント」, 「ニューカール・サンマー」が大きかったが, 「ニューカール・サンマー」は葉の付きがやや疎であった。「グランドパセリー」はやや小さい傾向であった。葉色は「グランドパセリー」が濃く, 「ニューカール・サンマー」が薄かった。葉の縮みは「ニューカール・サンマー」以外は各品種とも良好であったが, 「カーリー・パラマウント」には固体間差がみられた。収量は「瀬戸パラマウント」が最も高かった (表1)。

表1 品質及び収量 (1990年高冷地開発センター)

品 種 名	収穫葉の品質				合計 葉の 縮み (kg/a)	収量
	葉身の 大きさ	葉柄の 太 さ	葉の 重 さ	葉色		
瀬戸パラマウント	大	太	重	並	良	146.5
けさお	並	太	重	並	良	104.0
グランドパセリー	やや小	やや太	やや重	濃	良	116.5
カーリー・パラマウント	やや大	並	並	並	良	93.7
ニューカールサンマー	大	細	軽	淡	不良	78.3

1992年には「瀬戸パラマウント」, 「けさお2号」の2品種を検討したが, 「瀬戸パラマウント」は軟腐病による腐敗株の発生率が非常に高かった (表2)。

表2 腐敗株率の推移 (1992年高冷地開発センター)
(%)

品 種 名	遮光	月, 日				
		8.17	9.7	9.28	10.19	11.9
瀬戸パラマウント	あり	0.0	35.7	46.4	53.6	64.3
瀬戸パラマウント	なし	0.0	7.1	7.1	21.4	35.7
けさお2号	あり	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1

遮光 不織布 (遮光率30%) で雨よけハウス全体を被覆

(2) 雨よけ栽培の効果

雨よけ栽培をすることにより, 露地栽培よりも多収となった。また, 土のはね上がり等による収穫葉の汚れも少なく, 腐敗株の発生率も低下したことから雨よけ栽培は有効であると考えられた (表3)。

表3 品種, 栽培条件別生育量及び収量 (1991年高冷地開発センター)

品 種 名	栽 培 条 件		株 広 (cm)	葉 数 (枚)	側芽数 (個/株)	最大葉 (cm)			合計収量 (kg/a)
						葉 長	葉身長	葉身幅	
瀬戸パラマウント	雨よけ	遮光あり	33.1	13.3	2.9	22.2	12.1	8.9	79.8
瀬戸パラマウント	雨よけ	遮光なし	33.0	12.8	2.1	22.9	13.6	9.9	109.3
瀬戸パラマウント	露 地	-	30.1	11.0	1.9	18.7	11.1	8.9	79.5

遮光 不織布 (遮光率30%) で雨よけハウス全体を被覆

(3) 遮光の効果

高温期に雨よけハウス内の気温を下げる目的で遮光の有無を検討したが, 遮光することにより軟腐病が多発し,

表4 残存葉数別月別収量 (1991年野田村明内)
(kg/a)

残存葉数	8月	9月	10月	11月	12月	合計
8葉	33.7	24.9	12.0	2.7	2.4	75.7
10葉	39.9	38.7	25.8	5.4	2.6	112.4
12葉	39.5	34.1	18.8	4.9	4.3	101.6

無遮光区よりも収量が低くなった (表2, 3)。

(4) 仕立葉数

8葉仕立区は8月から9, 10月にかけての収量の低下が著しく, 低収となった。10葉仕立が最も多収となった (表4)。

(5) 育苗方法

ポリポットで育苗したものが生育が良好であったが, セルトレーやペーパーポットを用いて育苗した場合でも最終的にはアール当たり100kg以上の収量が得られた (表5)。

表5 育苗方法別生育量及び収量 (1992年高冷地開発センター)

育 苗 方 法	7月1日調査			8月14日調査					合計収量 (kg/a)
	草 丈 (cm)	葉 数 (枚)	株 広 (cm)	葉 数 (枚)	側芽数 (個/株)	最大葉 (cm)			
						葉 長	葉身長	葉身幅	
ポリポット仮植	13.5	5.6	40.5	11.3	3.6	27.7	16.4	8.3	128.7
セルトレー直播	4.5	5.1	35.8	10.1	2.4	24.5	14.9	7.9	110.4
ペーパーポット直播	8.9	4.5	33.7	9.7	3.6	23.7	15.2	7.0	101.1
ポリポット直播	12.6	5.7	41.9	12.1	4.0	27.6	16.7	7.8	106.5

瀬戸パラマウント 遮光なし

ポリポット丸型 (黒) 7.5cm, ペーパーポット特12号, セルトレー発泡スチール製 128S

4 ま と め

岩手県北部における春まき夏秋どりパセリーについて, 品種及び栽培法を検討したところ, 適品種は「瀬戸パラマ

ウント」及び「けさお2号」であり, 雨よけ栽培が有効であった。収穫時の仕立方法は残存葉数が10葉程度で多収となった。また, セルトレーやペーパーポットを利用した育苗も利用可能であった。